

第12回 篠山再生市民会議 会議録(要旨)

(記録:企画課)

日時:平成20年2月13日(水) 13:30~16:45
場所:丹南健康福祉センター 2階 研修室
出席者:篠山再生市民会議委員(杉尾委員、園田委員欠席)
庁内調整会議職員
傍聴者:1名

会議次第

- 1 開会
- 2-1 分科会
- 2-2 報告事項(全体会)
 - (1)分科会の報告
 - (2)兵庫医大との協議進捗状況について
- 3 協議事項(全体会)
 - (1)当面のスケジュール
- 4 閉会

決定事項等

- ・次回は全体会において、補助金、施設維持管理について協議する。

議事要旨

2-2 報告事項(全体会)

(1)分科会の報告

- (A委員) 補助金に関する分科会では、補助金の申請、評価のシステムについて協議した。申請システム自体はあるが、申請だけでなく、出口となる補助金の効果についての評価を厳密にする必要があるのではないか。評価委員会を作って査定するとして、行政内部で構成するのか、あるいは外部の人を入れるのかといったこれからの制度づくりことを今後検討していきたい。

また、市が交付している補助金5億円に対して、5千万円削減を目標にしているが、どこから削減するかとなると、それぞれの補助事業の内容を把握しているわけではないので判断が難しい。定額の補助金は目標として10%カットできるのではないかと。イベント関係の活動補助についても削減可能ではないかという意見があった。市として必ず支援をしなければならない補助金などがあり、全て10%カットできるわけではないだろうが、十分に検討しながら、必ずしも5千万円の削減にならないかも知れないが、目標に近づけて行きたい。

さらに、団体の運営費として、人件費の補助があると思うが、単に10%カットするのではなく、組織の統一等と一体的に考えることで、人件費の削減ができれば、補助金も削減できるのではないかという意見があった。

そして、補助の終期がないのがほとんどであり、来年度からすぐに終期を設定するのは難しいだろうが、終期を明確にする必要があるのではないかと、といった意見があった。

- (B委員) 補足すると、申請システム、評価の仕方として、行政内部で縦割りになっており、職員が各団体の事務局をしながら各課から補助金を出しているという問題がある。窓口を一元化して、そこで精査できないか、という意見があった。

- (C委員) 施設維持管理に関する分科会では、学校のあり方について協議し、教育委員会担当者から補足説明があった。

小学校については、平成14年の基本構想で統合案が示されている。委員の間では統合するという意見は一致したが、どこどこを統合するのか、基本構想の案を最低ラインとして、現状を踏まえながら検討を加えていきたい。次回の委員会までに各委員が持ち帰って、具体的に提示することにした。

中学校は現状でよいという意見もあるし、2校という案があるが、厳しす

ぎるのではないかという意見もあった。中学校についても、小学校の検討を踏まえながら各委員に具体案を出してもらうことにしている。

幼稚園、保育園については、市が立てた計画に基づいて統廃合が少しずつ進められており、このまま計画を進めてもらえばよいが、運営方法や統合された場合の受入れ施設について見直してもらいたい、という意見があった。

残りの時間で他の施設について話をしたが、施設が多すぎて、全てを議論するには至っていない。その中で支所、公民館の検討をした。支所について、一部施設は廃止も止むなしという意見が出ている。具体的な内容は次回各委員から提案してもらおう。廃止にあたっては、支所が担っていた機能をどのように補完していくか、また、廃止しないまでも一部機能を限定するなどの提案をしていきたい。

(議 長) 補助金、施設維持管理の分科会は互いに関連する部分もある。市の方でも職員が減少するという見通しの中で、どこで吸収していくかという検討が進んでいるが、どこの施設の職員を減らしていくかという議論にも繋がるのではないかと。前回要望があったが、分科会同士の意見交換も必要かと思う。

(C 委員) 支所、公民館では相当数の団体事務を引き受けている現状があるので、人員が減るなどした場合、団体事務をどうするかという話が出ると思う。簡単にはいかないだろうが、市が引き受けている団体事務を切り離したり、団体の支部の統廃合等も検討しなければいけないのではないかと。

(A 委員) 補助金と施設の関連性として、人件費に対する運営補助があり金額が大きい、単に 10%削減するのではなく、施設や組織そのものを統合して人件費を減らし、補助金を少なくするという方法があるのではないかと。

(議 長) 施設維持管理の分科会では施設を分類した一覧を用いて議論していたが、それぞれの施設に補助金がどれだけ入っているのかを確認できる資料が作れないか。組織を統廃合しながら、同時に補助金も統廃合できるものがあるのかどうか、別々に議論していると見えてこないが、資料を統合すれば議論できるのではないかと。また、施設を利用する活動団体も挙げておけば、イベント的な補助金の比較ができるのではないかと。次回は分科会の内容を全体で議論する場を持ちたい。

今後のスケジュールとして、3月中にあと2回会議を予定しており、その中で分科会のある程度の方向性を出し、4月の最初の会議で分科会のまとめを出してもらいたいと考えている。

(2) 兵庫医大との協議進捗状況について

(D 委員) 兵庫医大篠山病院の存続について、未確定だが10年間で総額約33億円を補助する基本協定案を取りまとめたが、合意には至らなかった。最近になって、兵庫医大側から、5年以内を目途に新たな医療機関へ引き継ぐことを前提に進めるという案と、基本協定案をベースにして補助金の上積みが必要という、2つの提案があった。県を交えた3者会議で、今後どういった手立てが講じられるか調整している状況である。

(E 委員) 市民会議の議論を始めるとき、兵庫医大との交渉が大詰めということだったので、市民会議の検討はノータッチだった部分もあった。一部報道では、交渉が振り出しに戻ったとも言われており、振り出しに戻ったのであれば市民の受け止め方を確認するためにも住民投票をするほどの大きな問題だと思う。他の案も考えないといけないのではないかと。

(D 委員) 今の案の微修正で合意できるのであれば、このまま行くことを望むが、基本的な枠組みが変わってくるようであれば、もう一度市民の意見を聞かなければならないと思う。

(F 委員) 兵庫医大への補助額が上積みされることは、本当に市民の理解が得られているのか。上積み分の財源はどこからってくるのか。平成2年度当初予算では市の職員人件費は削減せず、補助金についても平成2年度からの取組み

ということで、財政危機の意識がどの程度なのか理解しにくくなってきている。

(D委員) 病院への補助は市民の反応や議会の反応を聞かせてもらう中で、大筋では理解を得られていると思っている。今のところ補助額をこれ以上増やすことは想定していないし、増えるようであれば、他の手段を探すということを含めて考えなければならないと思っている。

財政危機の意識について、職員人件費については、給与カットは平成20年度の当初予算には盛り込めないことになったが、予想以上に退職者が出るため人件費は相当額削減される見込みである。補助金についても行政内部で検討しており、各部署で調整がついたものは平成20年度当初予算に盛り込む予定である。次回の会議で平成20年度当初予算と行政内部の取組みについて説明したい。

(G委員) 病院の施設費を出した後に、さらに運営費補助の上積みを求められた場合にどうするのか心配である。10年間はこれだけの補助額で運営してもらう、といった強い協定があるのではないかと。医療問題の状況はどんどん変化しており、リスクが高いが、他に手立てがないか検討することも大切だと思う。

(議長) 変化があれば逐次報告いただきたい。

市民アンケートについて

(議長) 市民アンケート調査票を付けているが、この会議での検討内容を反映し、副議長に確認いただいたうえで、2月18日を締め切りとしてアンケート調査を実施している。事務局での集計が出来次第、各委員へ報告してもらいたい。公表をどのようにするかも合わせて、次回の会議で議論していきたい。

平成20年度の組織機構(案)について

(D委員) [資料を用いて説明]

(H委員) 「ふるさと篠山へ帰ろう住もう運動」をしているが、市の職員のうち85人が市外から通勤しているらしい。強制できないと思うが、本来は市内に住んでもらうのが理想であり、引越できない事情があるならば、なぜ引越できないのかを調査することが運動の出発点になるのではないかと。身の入った仕事をしてもらいたい。

(I委員) 危機感を持って取り組んでいるとは思いますが、職員の行動を見ていると、中には危機意識を感じられないことがある。

(D委員) 「帰ろう住もうプロジェクトチーム」では様々なアイデアが出ており、中間報告書も公表している。いかに施策に結び付けていくかが課題である。中間報告については必要であれば次回お示ししたい。

(議長) 情報があれば出してもらいたい。本当にやっているのか実感として伝わりにくいこともある。

3 協議事項(全体会)

(1)当面のスケジュール

(議長) 3月は5日に第13回会議、19日に第14回会議を予定している。その後、4月に2回、5月に2回予定しており、5月の2回目の所で第二次答申案を出したいので、そろそろ答申案をイメージしながら会議を進めていきたい。次回の第13回会議は、市民アンケートの結果を議論し、全体会として補助金、施設維持管理に関して議論したい。第14回会議は、分科会方式で開催するという進め方でよろしいか。

(委員) 異議なし。

- 以上 -